

□防災まちづくり大賞その後の活動状況

—コミュニティにおける緊急情報放送システム—

守口市門真市消防組合消防本部

消防長 北川 章 光

守口市門真市消防組合消防本部と㈱エフエムもりぐち(愛称FM-HANAKO)では、平成7年8月から全国に先駆け24時間体制で防災情報などを発信するコミュニティ放送に取り組んでいます。今年の8月で丸10年を迎え、これまで培ったノウハウによりFM局と消防本部が、正確な情報をいち早く市民に伝える放送局として位置付けられています。

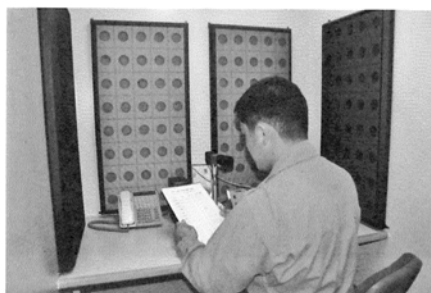
市民との情報を共有

災害時において、地域独自の情報は非常に重要であると認識され、ラジオの電源を入れれば、リアルタイムに情報をキャッチできる放送局として、また、時には市民相互のコミュニケーションの場として開局されたのが「㈱エフエムもりぐち」です。

開局当初からFM局と消防本部を回線で結び、「リアルタイム消防」(定時放送)を実施し消防職員の生の声を直接電波にのせ情報を提供しました。また、失敗が許されないというプレッシャーで日々緊張する毎日でした。しかし、現在では経験を積み各担当部門

から1日2回、消防概況などの情報を通信指令室、各消防署から情報提供を行っています。

定時放送の2回は(13時10分と17時の2回、約5分)消防職員が毎日実施しています。



定時放送実施中

情報提供の内容

- ①火災・救急・救助などの各種災害事案
- ②各種講習の案内(救急・防火管理講習など)
- ③各種広報(防災ひとロメモ・住宅用火災警報器等の設置について・悪徳訪問販売の注意喚起など)



スタジオにて

加えて、毎月1～2回消防職員がスタジオに出向き約15分間の生番組「いきいきライブもりぐち」に出演しています。アナウンサーと一緒に防災について訴え、火災予防運動などの各種行事や救急救命士からの救急に関する話、時節に応じた情報を発信し、市民の人が「いきいきとした生活」を送っていただけるよう取り組んでいます。

緊急情報放送システムでリアルタイムに情報提供を実施

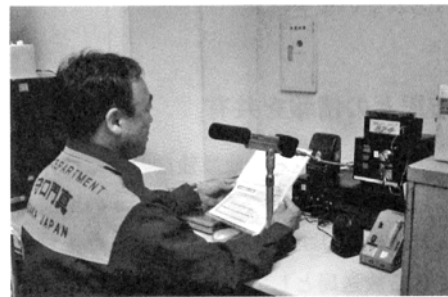
1 スタジオの有人時間帯での緊急情報放送の場合

消防本部からの火災などの災害情報をFAXで送信し、通常の番組に割り込みアナウンサーが放送します。

2 スタジオが無人時間帯での緊急情報放送の場合

19時から翌朝7時までの放送局が無人となる時間帯に火災などが発生した際、各種災害情報を消防本部の職員が放送中の番組に割り込み放送します。

これは緊急情報放送システム送信装置にてエフエムもりぐちの受信装置を制御し、自動的に放送番組をBGMレベルにダウンさせ緊急情報の放送を行います。



緊急放送実施中

3 緊急情報放送システムは消防本部司令課員が次の事案の発生時に実施

- ①第一出場以上の火災が発生した時
- ②ガス漏れ事故などが発生した時
- ③気象情報で警報が発令された時
- ④消防本部設置の震度計が震度1以上を計測した時

- ⑤広範囲にわたる長時間停電、断水、電話不通などが発生した時
- ⑥その他の災害で被害の発生が予想され、市民に注意を促す必要がある時

10年の活動から得たもの

緊急情報放送システムの活用で市民の方に火災情報をはじめ、地震や地域に密着したライフラインの情報をリアルタイムに伝達可能となりました。それは、市民の方から消防への情報提供をもとに関係機関との連携がより一層図れることにもつながっています。また、放火による火災防止と抑制、火災発生時の問い合わせの減少、応急手当の重要性等の認識も向上しています。

アナウンサーとのやり取りは電波を通し消防活動への協力や理解を深め、親しみを感じていただいています。こうした取り組みの積み重ねが災害に強いまちづくりへと結びつくものと考えます。

災害が発生した場合、情報は被災地以外には刻々と流れるが、被災地内に向けての情報は伝わるのに時間がかかり難しい問題があります。24時間緊急情報放送システムが構築され、緊急情報を市民に向けていち早く伝達することは災害発生から初期の段階での正確な情報を共有し、以後進展する災害状況の把握や、関係機関への情報の提供にもつながります。開局以降、あらゆる災害情報を発信していますが、消防防災広報の発信地としてこのシステムを最大限に活用し、市民の防火、防災の確保を図ることができるよう今後も取り組みを続けて行くこ

とが必要です。

緊急情報放送システムを活用し、職員が放送した事故発生件数

平成10年	火災	63件	気象	8回	
	地震	4回			計75回
平成11年	火災	49回	気象	5回	
	地震	6回			計60回
平成12年	火災	36回	気象	5回	
	地震	3回	停電	5回	計49回
平成13年	火災	76回	ガス	3回	
	地震	1回			計80回
平成14年	火災	53回	ガス	3回	
	停電	2回			計58回
平成15年	火災	67回	ガス	1回	
	気象	2回	地震	2回	
	断水	2回	停電	2回	計76回
平成16年	火災	57回	ガス	2回	
	気象	4回	地震	4回	
	断水	1回			計68回
平成17年	火災	51回			計51回

いきいきライフ出演

平成10年	19回	(火災予防5件 救急救助12件 その他2)
平成11年	23回	(火災予防10件 救急救助9件 施設装備1 その他3件)
平成12年	23回	(火災予防9件 救急救助11件 その他3)
平成13年	18回	(火災予防7件 救急救助9件 統計1 その他1)

平成14年	15回	(火災予防 4 件 救急救 助10件 統計 1)				助 4 件 統計 1 その 他 2)
平成15年	13回	(火災予防 4 件 救急救 助 7 件 統計 1 その 他 1)	平成17年	12回	(火災予防 4 件 救急救 助 6 件 統計 1 その 他 1)	
平成16年	11回	(火災予防 4 件 救急救				